

「腸内細菌の 捧げ物」

～ポストバイオティクス®が拓く未来～

日本農芸化学会2018年度大会

日東薬品工業株式会社ランチョンセミナー LS2-1



座長 京都大学大学院農学研究科 教授

小川 順 先生

講師 北里大学 北里生命科学研究所 講師

松井 英則 先生

「乳酸菌が生産する不飽和脂肪酸の
抗ヘリコバクター属活性」

日時

2018年3月17日(土)

12:30～13:20

会場

A20 会場

音楽の父J.S.バッハの名作に「音楽の捧げ物」という楽曲があります。この曲は、バッハが時のプロイセン国王フリードリヒ大王から与えられた(と言われている)ハ短調のごく短いテーマをもとに、巧みに変化を加えた主題をポリフォニックに配置し構築した、極めて複雑な作品です。譜面上は、難解な数学の問題の様な曲ですが、耳に入る音楽は、独特の広がり、えも言えない一体感という、相反する要素が同居しつつも、極めて特異なバランスによりもたらされる美の伽藍となっています。筆者は、この名曲を聴くにつれ、目下の腸内細菌研究に思いを重ねます。

私たちは、あるひとつの腸内細菌脂質代謝物を主題とした、複雑で難解な「食・腸内細菌・宿主相関」を目の当たりにし、一種驚愕に近い思いを感じるとともに、その調和がもたらす健康という美に感嘆せざるを得ません。

その美の一端、すなわち、腸内細菌代謝物【ポストバイオティクス】の巧みで見事な生理機能発現、にまつわるお話をとおして、「腸内細菌の捧げ物」に思いをはせていただければ、と思います。